

《兵庫県細胞検査士会メールジャーナル ☆2021.1 月創刊号☆》

【目次】

1. 新年のご挨拶(鳥居会長)
2. お知らせ
3. 地区委員のコラム(東 恭加)
4. 編集後記(ジャーナル担当)

1. 新年のご挨拶 兵庫県細胞検査士会 会 長 鳥居良貴

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご承知の通り、令和2年の初めから新型コロナウイルスが発生し、これまで経験したことのない流行となっています。

しかし、歴史を振り返ると、過去にも感染症の大流行はあり、その度に人々の考え方や行動様式を変えるきっかけになってきました。

14 世紀に世界的に流行したペストがきっかけとなり、ルネッサンスを生み、資本主義経済に繋がったと言われます。

コレラの場合は、公衆衛生の重要性から上下水道の整備が進みました。

同様に、去年はテレワーク(リモートワーク)や学校のオンライン授業が一気に拡がりました。

コロナが終息したとしても、働き方や学び方などこれまでの社会とはがらりと変わることとなり、コロナ以前に戻ることはないと思われます。

厚労省は疫病から人々を守るとされる妖怪「アマビエ」をモチーフに、啓発アイコンを作成し、感染拡大防止を呼びかけています。

コロナだからできる、できないではなく、コロナでもできること、そしてどのようにしたらできるかを考え、実行していきたいと思っています。

儒教五大経書のひとつの易経に記載されている「一陽来復」という言葉があります。

冬が終わって春が来るように、悪いことが続いた後に幸運の兆しがあることを願いながら、兵庫県細胞検査士会としてできることを役員一同 total concentration(全集中)で 臨みますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今後とも会員の皆さんと歩んで参りたいと思います。

2. お知らせ

- 1)細胞診断能力開発プロジェクトについて
- 2)第 21 回(令和2年度) 兵庫県細胞検査士会総会について
- 3)地区委員について

1)細胞診断能力開発プロジェクトについて [精度管理]神戸市立医療センター西市民病院:山下展弘・(株)協同病理:岩本英樹

第 1 回学術・精度管理、情報・広報合同 WEB 会議におきまして学術および精度管理について、今後進めていくうえでの方向性を確認しました。

その中で、兵庫県細胞検査士会として外部精度管理のような内容でセルフスタディを行うことが承認されました。

このセルフスタディは Self-Study Survey(自己学習のための細胞テスト)ということが目的で、外部精度管理ではありません。

強制ではなく自由参加であり、教育的視野から自己学習を行う形式として実施したいと思います。

このプロジェクトの名称を募集したところ「細胞診断能力開発プロジェクト」と意見をいただき、日本語だと固そうですので、「Ability for Cytology Development Project」の頭文字並べて通称「プロジェクト ABCD」と命名しました。

皆様、気軽に参加いただき、忌憚のない意見をいただければ幸いです。

また、今後は会員の皆様からも症例の提示いただき、兵庫県細胞検査士会全員でいい活動ができればと思っています。

どうぞよろしくお願いします。

Ⅰ 実施期間:2021 年 1 月か 2 月予定

(日本臨床細胞学会からの精度管理が 2 年ごとに開催されているため、その合間に兵庫県細胞検査士会のセルフスタディとして行う予定)

- 問題数: 10 問 回答は選択制
- 結果: 集計して統計処理 ← Web の技術的に難しいかもしれない
- 解説: 出題者からのポイントなど
- ご意見枠 ← こちらも現状難しいかもしれませんが

2)第 21 回(令和2年度)兵庫県細胞検査士会総会について

第 21 回(令和2年度)兵庫県細胞検査士会総会を3月に予定しております。
詳細が決まり次第、会よりお知らせいたします。
皆様よろしくお願いいたします。

3)地区委員について 兵庫県細胞検査士会 会長 鳥居良貴

○ 地区委員って何？

兵庫県細胞検査士会で新体制を構築していくうえで、初めて地区委員を配置しました。

次世紀を担う若い世代にも会の運営に少しでも携わってもらい、細胞検査士の未来を幅広い視点で考え、共有するために設置しました。

県内に若い CT は多くいますが、その中から各地区(兵庫県臨床検査技師会になり、阪神、神戸、東播、西播、但丹)から均等な人数で選出しました。

任期は 2 期 4 年を考えています。まずは 1 期頑張っていたきたいと思います。

○ どんなことをするの？しているの？

学術だけでなく、渉外(例えば LOVE49 の活動)、広報業務など当会の種々の活動に協力していただくことを想定しています。

昨年(2020 年)からのコロナによる自粛期間もあり身動きがとれない状態ですが、この状況でもできること、またどうしたら何かできるかを考えてもらったところ、全員から様々な意見がでてきました。

そのひとつが、このメールジャーナル配信であります。他にもホームページの充実、WEB 研修会、バーチャル症例検討会などあります。

若い技師の自由な発想が SDGs 達成の鍵になると思っています。

SDGs のアジェンダは「Transforming our world(世界を変革する)」です。変革には時に既存のルールさえも簡単に飛び越えてしまうような大胆な発想が必要となります。

ですから、この厳しい状況に関係なく、地区委員に期待しています。

3. 地区委員のコラム 県立がんセンター:東 恭加

『わたしの日常』

初めまして。東播地区 地区委員の東 恭加(あずま やすか)と申します。よろしくお願いします。

私は新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発出された4月に、県立がんセンターへ異動となりました。

がんセンターでの細胞診業務は、更なる幅広い知識と技術が求められます。先輩方との目合わせや、試験勉強以来見る機会のなかった気管支擦過標本に悪戦苦闘する毎日です。

コロナ禍で始まった新たな生活ですが、今、こうして健康を保つことができているのもお世話になった方々、周りの方々のおかげであると思っています。

週末には、気分転換にヨガに通っています(もちろん感染対策はバッチリです！)。

私にとってのヨガの魅力は、体を動かせることだけではなく、心もクリアにできることです。

レッスンが終わる頃には、心身ともにスッキリした自分に気付くことができます。

外出自粛や時短営業などにより行動は制限されますが、自分と向き合い、自分を癒す時間も必要なのではないでしょうか。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

4. 編集後記 ジャーナル担当:岡田、片山、黒田、坂本、濱武

皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

兵庫県細胞検査士会メールジャーナルがついに始動いたしました。

100年に1度と言われるパンデミックが続く中、様々なイベントや勉強会等の開催が難しくなっております。

ですが、何もしないよりは、「会員の皆様に会の活動や勉強会等、有意な情報を届ける事で、会員同士の交流のきっかけとなり、会が活性化する！」を目的にメールジャーナルを始めました。

先の見えない時代ですが、この小さな一歩が何かのきっかけになればと思います。

至らない点多々あるかと思いますが、メールジャーナルを暖かく見守っていただければ幸いです。

※ 兵庫県細胞検査士会では、メーリングリストへの登録をお願いしています！

兵庫県細胞検査士会メーリングリストでは、メールジャーナルを初め、勉強会等、様々な情報を配信しています。

ご職場やお知り合いの方などで、登録が未だの方がいらっしゃれば、ぜひこの機会にお勧め下さい！

皆様のご協力をお願いいたします。

メーリングリストへのご登録、変更および登録解除はこちらから↓

[兵庫県細胞検査士会 メーリングリスト](#)

兵庫県細胞検査士会へのお問い合わせはこちらから↓

[兵庫県細胞検査士会 お問い合わせ](#)

兵庫県細胞検査士会ホームページ↓

[兵庫県細胞検査士会ホームページ](#)